

平成19年度 事務事業評価表		担当	教育委員会 学校教育課				内線等	1605
事務事業名	教育相談事業					事業コード	1. 一般事務事業(ソト事業)	
根拠法令等	学校教育法					A法令		

総合計画での位置付け

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育
------	---------------------	-----	------

事務事業の内容

対象(受益者)	市内小中学校児童・生徒・保護者に対して
手 段	適応指導教室「あすなる」の充実と学校における相談活動の充実を図ることにより、
想定する成果	不登校など様々な問題を抱える子どもたちや保護者の心の安定をめざす。

事業の概要

項 目	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度計画
あすなる教室	入級者7人	入級者4人	入級者6人
入級者数	通級者5人	通級者12人	通級者4人
<p>入級者とは、「あすなる教室」に正式に申請書を出して通っている児童・生徒であり、通級者とは、申請は出していないが、時々教室に通ってくる児童・生徒である。(どちらの児童・生徒とも小中学校に通学できない又は欠席数が多い不登校児童・生徒である)</p>			

成果指標

成果指標名	相談実績数	不登校児童・生徒数
成果指標の説明	あすなる教室相談室「麦」の相談件数	「不登校」を理由とする30日以上欠席した児童・生徒数

事業の進捗状況 ( 一般 会計 ) (単位：千円)

		平成18年度決算(実績)				平成19年度決算(実績)				平成20年度予算(計画)			
成果指標		小学生4人、中学生1人 大人(保護者、教員)12人 延199件				小学生3人、中学生4人 大人(保護者、教員)14人 延256件				-			
成果指標		小学生27人、中学生97人				小学生20人、中学生91人				-			
事業費	事業費	6,277				5,274				5,366			
	人件費	7,747				7,798				7,810			
	(人数)	正規	0.3	非常勤	2.0	正規	0.3	非常勤	2.0	正規	0.3	非常勤	2.0
	合計	14,024				13,072				13,176			
財源内訳	国												
	県	630											
	市債												
	その他												
	一般財源	13,394				13,072				13,176			

事務事業内容の評価

項目	課内評価		部長評価		評価の説明(問題点)
	19評価	16評価	19評価	16評価	
達成度	2	2	2	2	全国的傾向で不登校の児童・生徒は増加傾向にあり、人的・時間的な限界により、対応しきれていない。
経済効率性	2	2	2	2	あすなる教室については、嘱託の専門職員で対応し、効果をあげている。
事務効率性	2	2	2	2	相談を希望する保護者全てには対応しきれていない。
必要性	3	3	3	3	不登校児童・生徒、保護者に対処するためには、必要不可欠な事業である。
小計	9	9	9	9	
施策への貢献度	2	-	2	-	不登校など様々な問題を抱える子ども、保護者の心の安定に貢献している。
合計	11	9	11	9	

達成度等各項目は、0～3点までの4段階評価

総合評価	B	B	B	B	不登校の児童・生徒は、全国的にも増加傾向にあり、数値的成果としては単純に比較できない。が、相談を必要とする子どもや保護者の数が増加してしていることは間違いのないことである。
------	---	---	---	---	--

総合評価は、A～Dまでの4段階評価

前回(H16評価時)「今後改善すべき点」として記載した内容及びその実施状況

前回(H16評価時に)記載した「今後改善すべき点」
現在「麦」の相談日は、週2回午後だけとなっているが、常時相談が受けられる体制作りが必要である。
上記改善点の実施状況
「麦」の相談日は、週2回の午後からであるが、必要に応じて相談が受けられる体制をとっている。

今後さらに改善すべき点

市内13小学校における相談員の確保

平成21年度予算に反映する項目

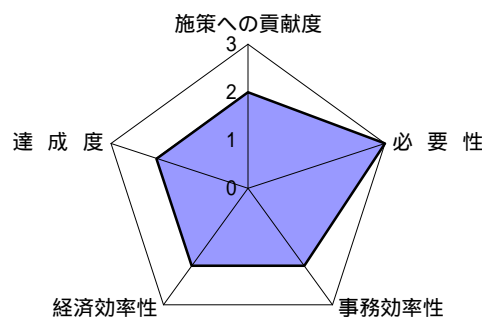
市内13小学校における相談員の確保

今後の方向性

**拡大、充実**

【各部長は、部長評価欄の採点部分だけを記載】

内部管理事務事業、義務的事業は必要性を、また施策名がその他のものは施策への貢献度を評価していません。



課内評価と部長評価の平均点